

2020年度・2030年度の再生可能エネルギー導入目標の算定

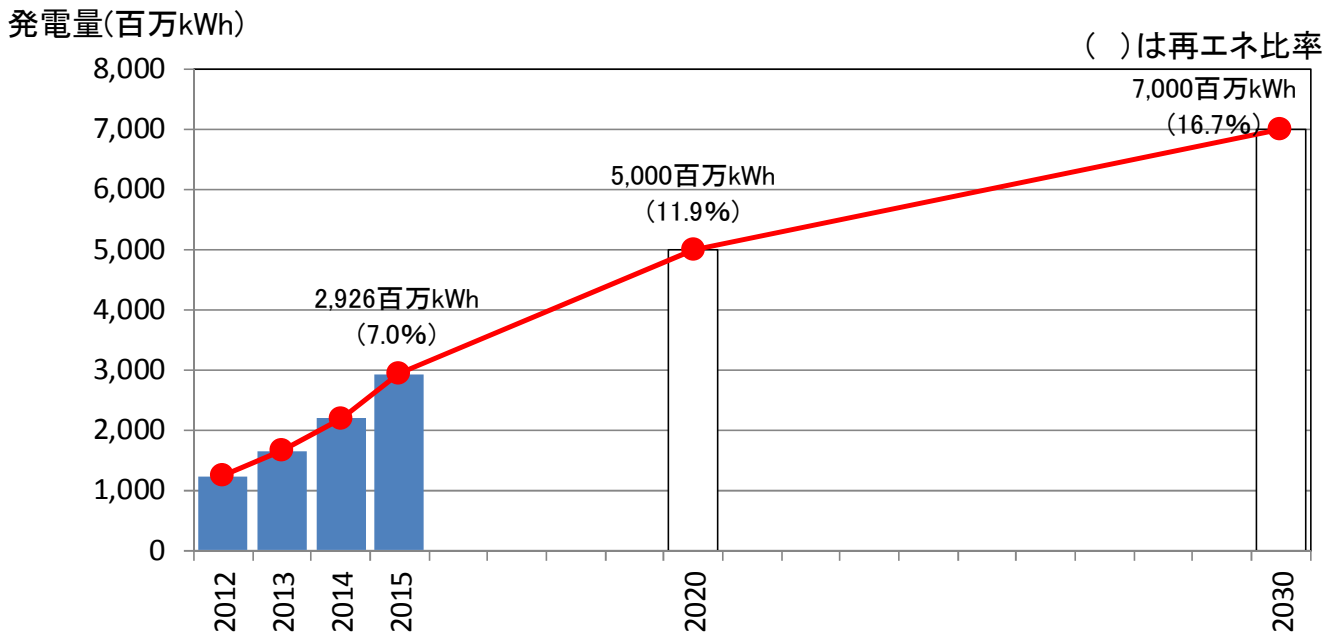
＜目標値＞

2020年度：再生可能エネルギーによる発電量 50億kWh

2030年度：再生可能エネルギーによる発電量 70億kWh

＜目標値の考え方及び評価＞

- ・2020年度の目標値については、現在把握している具体的な計画値の積み上げに加え、想定されている対策・施策を継続することを想定し、算出を行った。
- ・2030年度については、今後も合理的な誘導策等が行われることを想定し、算出を行った。
- ・目標を達成した場合、2020年度は再エネによる発電量は兵庫県内の消費電力量（約419億kWh）の11.9%、2030年度は16.7%に相当する。



	2015年度実績	2020年度末試算	2030年度末試算
再エネ発電量 (百万kWh)	2,926	5,000	7,000
想定県内電力消費量 (百万kWh)	41,898	41,898	41,898
再エネ比率(%)	7.0%	11.9%	16.7%

※2013年度の県内電力消費量の実績と同程度で推移すると想定

(参考)目標単位の変更について

「第3次兵庫県地球温暖化防止推進計画」では、導入目標を設備容量(kW)ベースで設定していたが、再生可能エネルギーは発電方法によって稼働率が大きく異なるため、本計画では発電量(kWh)を重視し、発電量(kWh)ベースで目標を設定

【2015年度末実績及び2020、2030年度目標の再生可能エネルギー発電量の目安】

種類	2015年度末実績		2020年度末試算		2030年度末試算		再エネ稼働率 (%)
	導入設備容量 (千kW)	発電量(推計) (百万kWh)	導入設備容量 (千kW)	発電量(推計) (百万kWh)	導入設備容量 (千kW)	発電量(推計) (百万kWh)	
住宅用太陽光発電	338	408	513	620	763	922	13.8%
非住宅用太陽光発電	1,149	1,409	2,399	2,942	3,399	4,169	14.0%
陸上風力発電	55	97	58	102	71	124	20.0%
洋上風力発電	0	0	0	0	130	342	30.0%
小水力発電	4	23	6	32	8	43	60.0%
バイオマス発電	104	730	145	1,013	148	1,037	80.0%
ごみ発電	58	259	64	285	89	398	51.0%
地熱発電	0	0	0.1	1	1	7	70.0%
潮流発電	0	0	0	0	5	18	40.0%
海洋温度差発電	0	0	0	0	1	5	56.0%
波力発電	0	0	0	0	0.3	1	40.0%
合計	1,709	2,926	3,185	4,996	4,616	7,066	
再エネ比率(%)		7.0%		11.9%		16.9%	
想定県内電力消費量(百万kWh)		41,898		41,898		41,898	

積算の考え方

	2016～2020年度	2021～2030年度
住宅用太陽光発電	固定価格買取制度の調達価格の値下げ等が予想されるが、メーカー競争によるパネル価格の低下等により、2012年度以降の導入ペース(35千kW/年)を見込んだ。	人口の減少により住宅の建築数がやや減少すると予想されるため、2012年度以降の導入ペース(35千kW/年)を下回る25千kW/年を見込んだ。
非住宅用太陽光発電	適地の減少、固定価格買取制度の調達価格の値下げによる事業性の低下などの理由から、2012年度以降の導入ペース(350千kW/年)を下回る250千kW/年を見込んだ。	適地の減少、固定価格買取制度の調達価格の値下げによる事業性の低下などの理由から、2012年度以降の導入ペース(350千kW/年)を下回る100千kW/年を見込んだ。
陸上風力発電	環境影響評価対象外の施設が少数導入されると予測した。	環境影響評価対象外の施設に加え、小型の施設が公園等を中心に普及すると予測した。
洋上風力発電	具体的な計画がないことから、横ばいとした。	洋上風力発電の普及等により、導入が促進されると予測した。
小水力発電	具体的な計画値を見込んだ。	地域主導等により導入が促進されると予測した。
バイオマス発電	具体的な計画値を見込み、さらに小規模施設が少数導入されると予測した。	小型木質バイオマス施設、家畜糞尿を用いたメタン発酵施設、下水処理場における消化ガス生成施設等が普及し、導入が促進されると予測した。
ごみ発電	具体的な計画値を見込んだ。	ごみ処理施設の更新等に伴い、導入が促進されると予測した。
その他発電	具体的な計画値を見込んだ。	新技術の確立等により、施設が少数導入されると予測した。